

平成31年度第3回白井市立図書館協議会（概要）

- 1 開催日時 令和2年2月27日（木）15:00～17:00
- 2 開催場所 白井市立図書館2階 研修室2
- 3 出席者 委員 中野会長、北原副会長、遠藤委員、中嶋委員、佐藤委員、苛原委員
事務局 石田文化センター長、鎌田館長、内山副主幹、藤田副主幹
- 4 傍聴者 2名
- 5 会長あいさつ
- 6 報告事項
 - (1)平成31年度主要事業中間報告及び利用状況について
 - (2)平成31年度資料購入状況について
- 7 協議事項
 - (1)令和2年度重点目標（案）について
 - (2)令和2年度主要事業計画（案）について
 - (3)令和2年度資料購入計画（案）について
 - (4)館内利用の一部変更（案）について
 - (5)令和2年度講演会（案）について
 - (6)教育振興基本計画（案）について
- 8 その他
- 9 配布資料
 - (1) 会議次第
 - (2) 会議資料
 - (3) 文化センターだより（図書館分）3月号
- 10 議 事 以下のとおり

課長	会議に先立ちまして、白井市の新型コロナウイルス感染防止対応について説明させていただきます。
会長	こんにちは。落ち着かない毎日の中、お集まりいただきありがとうございます。皆さんの活発なご意見をよろしく願います。
事務局	報告事項(1)平成31年度主要事業中間報告及び利用状況について (2)平成31年度資料購入状況について
委員	センター図書室の購入状況について聞きたい。センター図書室に行き本棚をみると、新しい資料が入っていないように感じられる。
事務局	センター図書室は、市民からのリクエストとセンター職員の要望を聞いて購入している。平成31年度は12月でセンター図書室購入予定数を上回ってしまったため、限られた予算で工夫していきたい。

委員	西白井地区の新施設であるコミュニティプラザには、建設前に市民要望がなかったので、図書室がないと聞いている。西白井地区はお子さんが多いと思うので、家の近くの施設に本があると利用する子どもがいると思う。センター図書室の古い本などを置くことはできないのか。
館長	施設担当課に要望があったことを伝える。
事務局	協議事項(1)令和2年度重点目標(案)について (2)令和2年度主要事業計画(案)について (3)令和2年度資料購入計画(案)について
会長	重点目標の⑤にある連携のうち、関連機関とは。
館長	連携とは、図書館資料を一括購入して、その資料をセンター図書室で貸し出し、返却ができるようにすることである。また、市内施設から収集した資料を要望する施設に回すために運搬業者の手配をし、資料の循環を行っている。関連機関とは、市内の福祉施設や団体、市役所各課を指している。
会長	センター図書室の資料は、市内のセンター図書室間を巡回するものなのか、固定されているのか。
館長	各センター図書室の所蔵となる。受け入れから数年過ぎ利用が少なくなったもの、棚に入りきらない資料などは、図書館書庫で保管することになる。
委員	参考調査について。資料案内の件数は多いが参考調査は極端に少ない。重点目標になっているが、具体的にはどのようなものをさすのか。
館長	資料案内は、短い時間で要望のあった資料を紹介し、提供するものである。おもに当市所蔵資料の案内などがこれにあたる。参考調査とは、所蔵資料以外にも情報や情報源等について調査、提供するサービスで、回答までに数日かかる場合がある。最近では、メールによるレファレンスも数件だが受けている。 なお、全国公共図書館の参考調査の事例は、国会図書館のレファレンス共同データベースに蓄積されており調査の重要な手がかりになる。

会長	レファレンスについては、数年前から重点目標に挙げられている。件数など増やしていく努力が必要ではないか。
館長	市民の方に内容の紹介も含めて、利用を促して行く。
委員	セルフ貸出機とは、どのようなものか。
館長	スーパーのセルフレジと似たものを考えている。利用券と資料のバーコードを読み取る機械を用意し、利用者自身が貸し出しをする。ただし、予約資料や書庫の資料は別置きしており、カウンター職員が貸し出しすることになる。
委員	学校との連携について。調べ学習のための資料は、学校図書室の所蔵分だけでは足りない状態だ。インターネットも使って調べていますが、出典が明らかでないものが多い。本は出版までに情報の確認を行っているので、できれば正確性のある図書資料を使いたいが、リアルタイムで資料が学校に届かない状況だ。学校図書館と市立図書館のシステムがリンクしていれば活用しやすい。市内には書店がなく、学校図書館が教室から離れているという学校もありま。予算を伴うことだが、要望としてあげたい。
館長	学校との連携事例で先進的な市川市や袖ヶ浦市では、学校図書館専門の部署が図書館とは別にある。図書館と学校間を繋げて、資料提供、本の流通を行っている。
事務局	白井市では、学校図書室の補助教員の配置とともにシステムの統合について検討したが、予算額が大きく導入できなかった。現在は、補助教員が自校の資料を検索し、市立図書館所蔵分はインターネット検索を行って、すり合わせをしているようで、手間と時間がかかっている。
事務局	先ほどのセンター図書室の資料について追加説明。収蔵能力の限界があるため、年間計画通り400冊購入すると400冊は書庫に入れるということになる。
会長	資料が充実することは大切なので、よろしく願いしたい。
事務局	協議事項(4)館内利用の一部変更(案)について
委員	学生などへの居場所の提供について。図書館内のどこを考えている

	のか。ポスター案では、会議などもできるようだがどうなのか。
館長	ヤングアダルトコーナー近くを考えている。今日のテストでWi-Fiの電波の届く範囲を確認した。軽微な音がしてもよい場所としての提供も考えている。
会長	前回の会議では、電算室でも会議ができるとのことだったが、どうか。
館長	持ち込みパソコンが使用できる電算室あたりまでWi-Fiの弱めの電波が届いている。そこで、電算室は引き続き持ち込みパソコンの使用を考えている。将来的には、ちょっとした話し合いができる場所の提供などを考えている。
委員	図書館内に飲食する場所はいらないと思う。文化センター内にフリースペースがあるとよいと思っている。ちょっとお弁当を食べたり話し合ったりすることができる、集える場所になる。2階の喫茶の前やエントランス付近に、テーブルや椅子などは置けないか。
課長	2階エレベーター前は中ホールへの動線となっており、入場待ちの人や受付機などを置く場所となっている。1階エントランスも同様に大ホールの動線となっている。衛生面からも設置は難しいと考える。
委員	千葉ニュータウンのイオンにフリースペースがあって、飲み物を持って勉強や仕事、仲間内で話したりすることができる。そういう場所が図書館にあればよいけれど、何かうまく活用できないか。
委員	図書館内での飲食は許可しなくてもよいと思う。ただ、学習室で朝から勉強してお昼を食べるために席を外すと、座る席がなくなってしまう。何かよい解決策はないだろうか。
委員	学校図書館でも飲食はできない。スペースはあったほうがよいが、少ない場所の提供では取り合いになり、このような状況では難しいと考える。学習室に整理券を配るところもあるようだが、席をとるために朝早くから並ぶというのも違和感がある。
会長	八千代の図書館には机と椅子が多く配置されており、資料が置かれたまま人がいない、という状態も見かけた。それでは意味がないのではないか。資料にあるように、毎日午後2時から開放になるのか。

館長	用意した資料は、一案である。午前中は静かな環境を好む利用者が多いと思われるので、設定は午後になると考えている。
委員	おしゃべりと同じ周波数の音楽を流すという事例も聞いたことがある。
館長	最近「静寂」と「活気」を求める利用者があり、二極化していると感じる。図書館奥の社会人席では、「学生がうるさい」と苦情があった。多少の話ができる席が別にあれば、奥の席は遠慮していただき、すみ分けができると考えている。
事務局	協議事項(5)令和2年度講演会(案)について
委員	講演会について。県立中央博物館の副館長は学校関係者と聞いている。子ども向けなどの希望を伝えればよいのではないか
委員	学校との連携について。職員の皆さんを手伝ってくれるマンパワーを活用できるのではないか。初動は伴走のようで大変だと思うが。
委員	25周年のリサイクルのお手伝いについて。何かお手伝いできるという人は多いと思う。職員が足りない中、初動は本当に大変だと思うが。
会長	市民と一緒に活動するという事は大切だと思う。大変だと言っていては始まらない。少しずつ進めていただきたい。
課長	協議事項(6)教育振興基本計画(案)について
事務局	図書館の根幹である、資料・司書・施設について作成した。委員の意見を伺いたい。
委員	漠然としていて良くわからない。計画の中に具体的なことは入れられないのか。予算が無いと言われると何も言えないが、市内に本屋が近くにない場所もあり、子どもが本にふれる機会が少ないとのことなので、例えば、移動図書館があれば交通弱者の老人も子どもも利用できるのではないかと思うが、夢の話だろうか。
館長	来館が困難な方へのサービスというような文言は入れられるかもしれない。

会長	今後5年間の計画なのであれば、漠然としていても未来志向で終わるようにして欲しい。3項目は必須要件だ。ならば、中心に書かれているのがベスト。長い文書でなくインパクトのある短い言葉で書けばよいのではないか。
会長	このボリュームが必要なのか。この中でやって欲しいことはすべてはっきりと書くのか。
委員	学校の連携も入れて、「どなたでも利用しやすい」などの表現がよいのではないか。
課長	図書館の事業は市の総合計画での位置付けだったが、今回、教育委員会での初めての綱づくりとなる。
委員	「図書館サービスの充実」と本文最後にでてくる「市民が求めるサービスの提供」とは同列なのか、どのようにつながるのか。市民が求めるサービスを提供するために資料費の確保云々とつながるとよいのではないか。
館長	市民からの多様な新しい要望を表すために、入れた文章である。もう少し表現を考えて行きたい。
委員	外国人の利用はあるか。車いすの利用者はいるか。
事務局	当館を利用する外国人の方は日本語が堪能な方が多い。日本人の利用者が外国人の方を連れてくるケースもある。館内の車いすは、高齢の方が利用されることが多い。開館当初から、電動車いすで来館されている利用者もいる。
会長	市職員のレポートも読ませていただいた。最近図書館を取り上げる新聞や雑誌の記事も多くなっているように感じる。図書館のあり方も貸出・返却だけでなく変わってきているようだ。白井も工夫が必要だと思う。人と人をつなげながら、情報発信していく。ご苦労だと思うがよろしく願いたい。
委員	託児や保育について。ある図書館では親が本を読みたい時に図書館内で預かってくれるスペースがあるようだ。白井市の方針で若い人に市民になってもらうというのがあるので、その趣旨にもあうのではないか。

委員	<p>双子の孫と生活しており、「にんさんぷらネタリウム With 図書館」に参加した。市内にも色々なサービスがあることを知った。また、市の施設ではないか、「双子の会」で洋服などのお下がりをいただいた。図書館でも親子のコーナーが更に充実してそれを発信していけば、若い人口の増加要因になるのではないか。</p>
会長	<p>そのような立場にならないとわからないことは多いと思う。市民の要望を取り入れられることから、取り組むと暮らしやすいまちになっていくのではないか。</p>
事務局	<p>次回は6月25日（木）を予定しています。長時間ありがとうございました。</p>